



福島県立美術館開館40周年記念展

福島 の 美術家 たち

ARTISTS IN
FUKUSHIMA

2024

2024

5/25 sat - 7/22 mon

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜(7月15日・7月22日は開館)、7月16日㊟

観覧料 一般・大学生800(600)円、高校生400(200)円

小・中学生200(100)円 ※()内は20名以上の団体料金

主催・会場 福島県立美術館 〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

tel. 024-531-5511 <https://art-museum.fcs.ed.jp>



1.齋藤勝正《歴(いわき神白海岸)》2012年 2.酒井昌之《雪の楢上川(茂庭)》2001年 3.横山尚人《ポプラ並木》1999年
4.関谷浩二《すいかずら花文切貝蒔絵水指》1994年 5.石山信子《リバーサイド》1999年

福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art

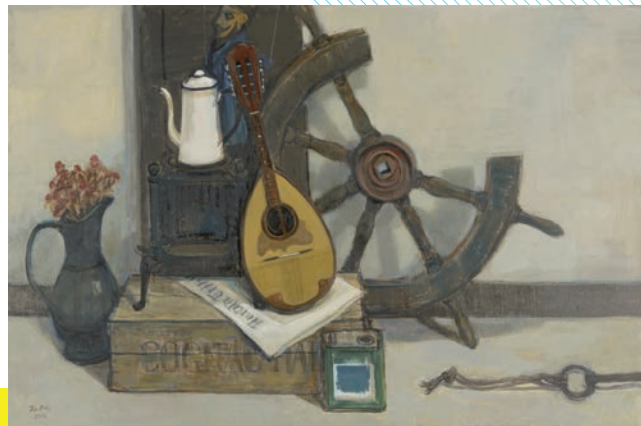
福島 の 美術家 たち 2024

ARTISTS IN
FUKUSHIMA
2024

山紫水明の地である福島県は、豊かな文化的土壌のもとで数多くの美術家を輩出してきました。福島県立美術館では1984年7月22日の開館以来、福島県出身・ゆかりの美術家の回顧と顕彰を重要なミッションのひとつとして位置づけ、折に触れて紹介に努めてきました。特に1987年、1989年、1991年と3回にわたって開催したシリーズ企画「福島の美術家たち」では、各ジャンルから計117名にものぼる同時代の作家を取り上げています。

このたび開館40周年記念展として開催する「福島の美術家たち2024」は、同シリーズの趣旨を継承し、1990年代以降現在まで、日本画・洋画・版画・立体・工芸の5つの分野から顕著な活動が続けてきた美術家40名をご紹介します。

県内外で活躍する郷土作家の作品が一堂に会する貴重な機会となるとともに、未来を担う若い世代に向けて新たなエールを贈る展覧会となることを目指します。



渡辺雄彦《Composition 2016》2016年



小島安男《隠された球体(A)》1997年



一重孔希《白磁瓢形花瓶》制作年不詳

出品作家

日本画

安堵蒼樹 齋藤勝正 鈴木龍郎

洋画

久家三夫 小堀 貞 齋藤 研
酒井昌之 鷺 邦明 白井洋子
高澤俊郎 富樫京子 中島敏明
馬場 泰 広瀬 諭 藤於 環
峰 丘 村上伸栄 渡辺雄彦

版画

伊藤集三 岩谷 徹 小島安男
下山田晴彦

立体

安斉重夫 石山信子 遠藤 徳
大竹 京 若杉儀子

工芸

〈陶〉

一重孔希 伊藤文夫 近藤 学
佐藤 幹 第十五代田代清治右衛門
渡辺雅旺

〈漆〉

折笠光助 須藤靖典 関谷浩二

〈七宝・ガラス〉

水落佑子 水落雅子 横山尚人



峰丘《バプアの聖人になった自画像から抜け出してゆく私とあなた》2011年



大竹京《撫子》2007年



水落佑子《有線七宝香合「きみかげそう」》2007年



遠藤徳《古里・帰還の日》2017年

記念鼎談

福島の美術家たち～これまでとこれから

2024.5/25(土) 14:00～15:00

〔会場〕当館講堂

〔出演〕齋藤勝正氏、酒井昌之氏、早川博明氏(当館元館長)

※聴講無料、事前申し込み不要、当日会場にお越しください

次回企画展のご案内

開館40周年記念展「みんなの福島県立美術館 その歩みとこれから」2024.8/3(土)～9/16(月・祝)

交通案内
電車 で… JR福島駅東口より福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分
バス で… JR福島駅東口より福島交通バス9番のりばから市内循環もりん2コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分
タクシーで… JR福島駅東口、西口より約5分
車で… 東北自動車道福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分

開催中～7/22(月)まで

常設展テーマ展示

プレイバック!福島の美術家たち

〔会場〕当館常設展示室



福島県立美術館

Fukushima Prefectural Museum of Art

〒960-8003 福島県福島市森合字西養山1番地

Tel.024-531-5511 Fax.024-531-0447

<https://art-museum.fcs.ed.jp>



ホームページ



X(旧ツイッター)
@fukushima_kenbi



Instagram
@fukushima_kenbi